

大賞

佐賀未来創造基金

佐賀市

子育てや災害復興、まちづくりといった地域課題の解決を目指す「市民コミュニティー財団」は2013年に発足した。19年度までに400以上の団体を支援、助成総額は8400万円を超えた。新型コロナ対応で苦境に立つ医療従事者などを迅速に支援。市民活動への寄付を受け付けている佐賀県のふるさと納税や、休眠預金を民間の公益活動に生かす制度を通じた資金集めに取り組む。



準大賞

つばめいと

新潟県燕市

国内有数の金属加工産地である新潟県燕市で、地元の中小企業が一緒になってインターンシップの学生を呼び込もうと、2016年に経営者有志らが設立した。独自のプログラムや、駅近の商店街に遠方の学生がホテル代などを気にせずに宿泊でき、交流の場にもなる施設を設けている。新型コロナウイルス感染拡大に伴う春の緊急事態宣言発令後、古里を離れ、帰省を自粛する首都圏などの学生を地元産品で応援する取り組みをいち早く始めた。



志摩市民病院

三重県志摩市

2015年度の赤字は約4億円。診療所への規模縮小が検討され、医師3人が退職。1人残された若き医師が16年4月院長に就任し、さまざまな改革に着手した。「断らない医療」を掲げ、手厚い医療を心掛けた結果、収支は改善。研修生は専門外の大学生や中高生まで受け入れている。一人の入院患者の話し相手に徹する研修は、患者にも生きがいを与える。地域の祭りにも積極的に参加し、地域に開かれた病院に変貌を遂げた。



ブロック賞

東彼杵ひとこともの公社

長崎県東彼杵町 地域の未来賞 兼九州・沖縄

廃倉庫を改装した交流拠点施設を立ち上げてにぎわいを創出し、周辺エリアでの新店舗開業を支援。フレンチレストランやアンティークショップなど5年間に約20店がオープン、県内外からの移住につながった。



BOOT (ブット)

福島県西会津町 北海道・東北

山あいの小さな集落にある元中学校の木造校舎で「西会津国際芸術村」を運営。内外のクリエイターが活動拠点に使えるほか、多様な交流イベントを企画。アーティストをはじめ多様な人材の「関係人口」を増やす。



小さな村総合研究所

山梨県丹波山村 関東・甲信越

「小さいから、できる」。「村度」ならぬ「ソクタク（村民タクシー）」や薬膳ピクルス開発に取り組む。「g7（小さな村サミット）」では全国7ブロックの村が連携。都内に7村共通の拠点となる特産品店舗を設けた。



RENEW実行委員会

福井県鯖江市 東海・北陸

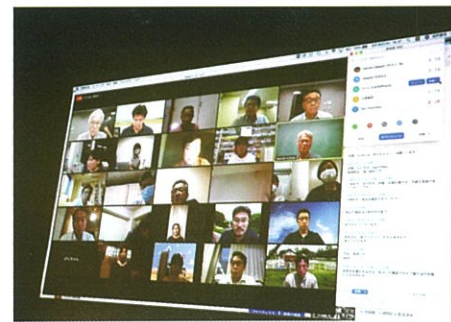
伝統工芸や地場産業が集積する丹南地域で、工房を開放して作り手と使い手が会えるイベントを開催。漆器、眼鏡、和紙、打刃物、筆筒、焼き物、繊維と7産地を結び、80社前後が参加し、3万人以上が訪れる。



三方よし研究会

滋賀県東近江市 近畿

病気になっても住み慣れた地域で暮らせるように「患者よし、機関よし、地域よし」を掲げ医師や看護師、理学療法士、行政、消防隊員らが意見交換、顔の見える関係を築く。切れ目なく患者に寄り添うネットワークを目指す。



おかやま親子応援プロジェクト

岡山市 中国・四国

コロナ禍で孤立や学習の遅れ、生活困窮、虐待など親子にさまざまな問題が起きた。30以上の民間団体・個人が結集。オンラインでの学習支援やワークショップ、生活情報提供に取り組む。

